



＜2018年12月のSDGs推進本部第6回会合における安倍総理からのキーメッセージ＞

キーワードは、「豊かで活力のある未来に向けた国づくり」、「子や孫の世代に誇れる日本」、そして「国際社会をリードする日本」。G20に向けて具体的な取組を推進・強化し、SDGs首脳級会合においてG20議長として国際社会に対して発信する。



G20大阪サミットの直前に開催される次回のSDGs推進本部会合において

- SDGs主要課題におけるG20議長国としてのイニシアティブを発表
- 主要な取組をアップデートした『拡大版SDGsアクションプラン2019』を決定

＜参考:『拡大版SDGsアクションプラン2019』目次案＞

## 1. SDGs主要課題におけるG20議長国日本のイニシアティブ

『SDGsアクションプラン2019』にてG20議長国日本としてリーダーシップを発揮していくと決定したSDGs主要課題(防災, 海洋プラスチックごみ, 保健, 教育等)に関する日本のイニシアティブを発表(参考1)。

## 2. 『拡大版SDGsアクションプラン2019』における主要な取組

上記1以外の分野における特に目玉となる取組を掲載(イメージ:『拡大版SDGsアクションプラン2018』(参考2))。

## 3. 政府によるSDGsを推進するための取組一覧

「SDGs実施指針」優先課題①～⑧に沿った主な取組に関して、『SDGsアクションプラン2019』に掲載されている主要な事業をアップデート。



国際社会によるSDGsの取組を牽引しつつ、そのための科学技術イノベーション(STI for SDGs)の更なる活用を推進。

■強靱かつ環境に優しい「国づくり」のため、質の高いインフラ、防災、海洋プラスチックごみ対策、気候変動対策等に貢献

### 質の高いインフラ

質の高いインフラ投資に関する国際スタンダードをアップグレード(以下の諸点をハイライト)。

- ①開放性、②透明性
- ③ライフサイクル・コストから見た経済性
- ④対象国の財政健全性等

### 防災

「仙台防災枠組2015-2030」の実施を主導。

- ① **防災の主流化**や「世界津波の日」の普及・啓発を推進
- ② 「**仙台防災協カイニシアティブ**」の成果を公表し、後継策を打ち出す

### 海洋プラスチックごみ

世界全体での海洋プラスチックごみ問題の解決を目指し、この問題に対する以下の実効的な取組を推進するためのイニシアティブを主導。

- ① **3Rや廃棄物処理**に係る制度構築及び**インフラ整備**への支援、民間投資や官民連携の推進
- ② **代替素材**等に関するイノベーション
- ③ **モニタリング手法**の策定等、**科学的知見の集積・共有**

### 気候変動・エネルギー

日本の技術・経験で、世界の経済成長と脱炭素化を牽引。

- ①環境と成長の好循環に向け、**グリーン・ファイナンス**の活性化、**ビジネス主導の国際展開、イノベーションの促進**を図る。
- ②日本の幅広い**低炭素・脱炭素技術**を提案し、エネルギー転換を推進。
- ③**NDC(削減目標等)及び長期戦略の着実な実施に向け**、必要な施策・支援を議論し、課題を特定。必要な気候資金のあり方等を提示。
- ④**適応策と強靱なインフラ整備**を統合的に推進。
- ⑤**様々な主体の総力を結集**し、気候変動問題に取り組む。

■「人間の安全保障」に基づき、世界の「人づくり」のため、女性のエンパワーメント、保健、教育に貢献

### 女性

「女性が輝く社会」を国内外で実現するため、3月のWAW!/W20も活用しつつ、以下の重要性を確認。

- ① **アフリカを含む途上国での女子教育**:女性・女児の経済的・社会的エンパワーメントに向けた女子教育の推進
- ② **女子へのSTEM(科学、技術、工学及び数学)教育**:女性が将来の職に備え、職業選択における平等な参画を実現する上で、STEM関連の訓練及び職業へのアクセスの確保・向上

### 保健

G7伊勢志摩サミットの成果にも立脚し、G20自身の課題解決と途上国への支援の両面から主導力を発揮。

- ① **UHCの達成**:基礎的医療サービスの供給、国内予算の保健への配分向上等、保健システムの強化
- ② **高齢化への対応**:健康長寿(Healthy Ageing)や認知症施策の推進
- ③ **健康危機への対応**:健康危機時(主に感染症)における国際的な資金メカニズムや、薬剤耐性(AMR)への対応

### 教育

G20ブエノスアイレスサミットにおける議論を踏まえつつ、基礎教育に加え、中等教育以上や職業訓練等にも注力。

- ① **持続可能な成長に向けた質の高い教育**:基礎学力の保障、学びの改善等
- ② **イノベーションを生む教育**:産業、特にSTIを担う人材育成
- ③ **強靱で包摂的な未来をつくる教育**:女性・障害者等への教育、紛争・災害下の教育支援

■日本のSDGsモデルの国際社会への共有・展開

- **アジアへ**:重点地域アジアにおいて『日メコンSDGsイニシアティブ』の策定、アジア健康構想の推進、「日ASEAN STI for SDGsブリッジングイニシアティブ」の立ち上げ等を実施。
- **アフリカへ**:TICAD7を通じ、アジェンダ2063及びSDGsの達成に向け、アフリカ諸国と協働。
- **世界の地方へ**:SDGsハイレベル政治フォーラムや国内におけるG20関連会合等の機会を通じ、地方自治体の「SDGsモデル」を国内外に発信。

「Society 5.0」の推進等によるSDGs達成  
IoT・AI等の革新的技術を活用したSociety5.0と、途上国の社会課題解決に資する貿易投資の推進。

国際社会で「地域循環共生圏」づくり  
地域の資源・人材を活用した持続可能な地域作りを総合的に支援。野心的な脱炭素社会の実現につなげ国内外に発信。

## 1. 「SDGsのための科学技術イノベーション」(STI for SDGs)

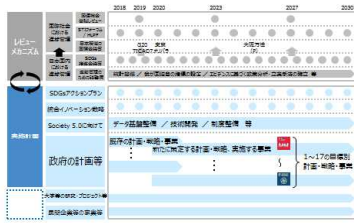
「総合科学技術・イノベーション会議」(CSTI)の下、「STI for SDGsタスクフォース」を設置し、以下を議論。

### (1) Society5.0

- 『統合イノベーション戦略』(6月15日閣議決定)の下、Society5.0の実現に必要なSTIを活用し、SDGsの達成に向けて世界最高水準の取組を推進。

### (2) 「STI for SDGsロードマップ」

- 世界に先駆けて「STI for SDGsロードマップ」を策定(2019年年央まで)、国際社会に提示。各国のロードマップ策定を支援。
- その第1弾として6月に開催された日本が共同議長を務める「国連STIフォーラム」等で同ロードマップの雛形を発信し、策定の機運を醸成。



(『STI for SDGsロードマップ』雛形)

### (3) SDGsのマッチング・プラットフォーム

『統合イノベーション戦略』、『知的財産戦略ビジョン』等日本の技術シーズ等の知的資産と国内外のニーズをマッチングするプラットフォームのあり方を検討。

## 2. SDGs経営推進イニシアティブ

日本企業がフロントランナーとしてSDGsを実現するため、以下のとおり、SDGs経営推進イニシアティブを展開。

### (1) ESG投資・対話の促進

- 企業と投資家の建設的な対話を促す「価値協創ガイダンス」の活用を表明するためのロゴマークを策定し、ESG/SDGsの経営戦略への取込み等を開示する企業の情報発信をサポート。機関投資家による宣言等を通じた企業と投資家の相互理解促進。「関西分科会」を設置し、地方の中小型株における開示・対話のあり方を検討し、情報発信を推進。
- さらに、「価値協創ガイダンス」に位置づけられたSDGsの経営戦略への組み込みを深掘りし、経営者と投資家のグローバルな対話・発信を推進。
- 気候変動問題等に取り組む企業の活動を「見える化」するための方策を検討。

### (2) ベンチャー企業支援

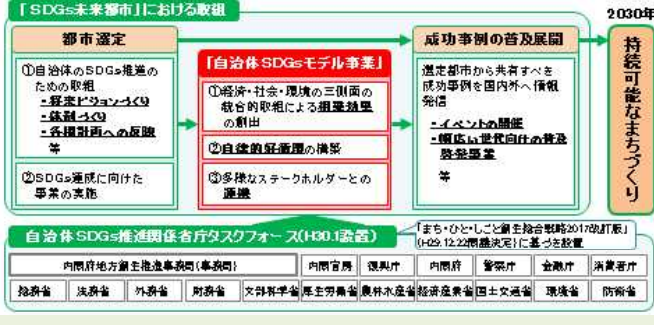
世界に新しい革新を提供する企業を選出して官民で集中支援する新たなベンチャー支援プログラム「J-Startup」にて、SDGsへの貢献をモデル類型の1つに設定。民間支援機関、NEDO、ジェトロ等の関係機関が連携して、海外展開等を重点的に支援。

### (3) Society5.0海外展開プロジェクト組成支援

7月に設立予定の一般社団法人世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターとも連携。民間主導によるSociety5.0海外展開プロジェクト組成を促進。

## 3. 地方創生に向けた自治体SDGs推進事業

- 自治体におけるSDGsの達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するため、その取組の推進が重要。
- 自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する29都市を「SDGs未来都市」として選定、自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースにより強力に支援する。
- その中で先導的な取組を行う10都市を「自治体SDGsモデル事業」として選定し、資金的に支援。
- 成功事例の普及展開等を通して、自治体におけるSDGsの達成に向けた取組の拡大を目指す。(都道府県及び市区町村におけるSDGsの達成に向けた取組割合：2020年度目標30%)



### 【SDGs未来都市】(下線が自治体SDGsモデル事業に選定された自治体)

- ①北海道
- ②北海道札幌市
- ③北海道ニセコ町
- ④北海道下川町
- ⑤宮城県東松島市
- ⑥秋田県仙北市
- ⑦山形県飯豊町
- ⑧茨城県つくば市
- ⑨神奈川県
- ⑩神奈川県横浜市
- ⑪神奈川県鎌倉市
- ⑫富山県富山市
- ⑬石川県珠洲市
- ⑭石川県白山市
- ⑮長野県
- ⑯静岡県静岡市
- ⑰静岡県浜松市
- ⑱愛知県豊田市
- ⑲三重県志摩市
- ⑳大阪府堺市
- ㉑奈良県十津川村
- ㉒岡山県岡山市
- ㉓岡山県真庭市
- ㉔広島県
- ㉕山口県宇部市
- ㉖徳島県上勝町
- ㉗福岡県北九州市
- ㉘長崎県壱岐市
- ㉙熊本県小国町

## 4. SDGsウェブプラットフォーム等

様々なステークホルダーによるSDGsの取組事例を共有するウェブ・プラットフォームを6月に創設し、国内の更なる行動につなげるとともに、海外に発信する。



目標毎や、ステークホルダー毎に検索可能

また、SDGs人材の育成を加速化する一環として、学校現場等における実践的なSDGsの教育に係るベストプラクティスを収集・公表。



時期	実施事項
2019年8月	骨子作成
2019年9月	第8回SDGs推進円卓会議 開催
2019年10月	パブリック・コメント 実施
2019年10月	SDGs実施指針改訂案本文 作成
2019年11月	第9回SDGs推進円卓会議 開催
2019年12月	第8回SDGs推進本部において、SDGs実施指針(改訂版)公表
2020年1月	SDGs実施指針(改訂・英語版) 作成